

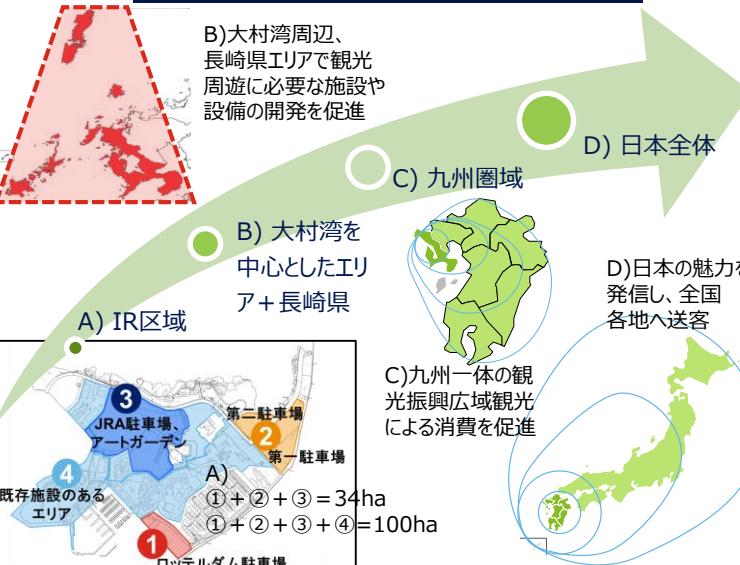
導入の背景と九州・長崎のポテンシャル

世界	日本
観光産業はトレンド (成長への期待)	観光立国実現に向けた取組 (観光ビジョンの策定等)
IRによる成功事例 各地で新たなIR開発の動向	観光先進国への飛躍 (IR導入の検討)

九州・長崎のポテンシャル

①アジアとの近接性	②古来からの交流の歴史	③国際的にメッセージ性の高い観光資源	④観光振興に向けた先進的な推進体制	⑤ハウステンポスとの相乗効果
-----------	-------------	--------------------	-------------------	----------------

構成エリアと期待される効果



経済波及効果等の試算 (九州圏内)	施設集客延人数	約740万人/年	建設投資額	約2,000億円
	経済波及効果(運営)	約2,600億円	経済波及効果(建設投資)	約3,700億円
	雇用創出効果(運営)	約2.2万人	雇用創出効果(建設投資)	約3.8万人

『日本の保全と成長への貢献』

国境離島地域の保全・振興

<有人国境離島法>

歴史・芸術・伝統等の文化保全・活用

<文化経済戦略>

九州ゲートウェイ機能の強化(日本のゲートウェイへ)

<国土形成計画(九州圏広域地方計画)>

『観光先進国』・『地方創生』の実現

滞在型観光モデルの確立	世界で勝ち抜くMICEビジネスの確立	世界に向けた日本の魅力発信	(しごと) 良質な雇用創出・所得向上	(ひと) 若者定着・UITターン促進	(まち) 好循環を支える都市機能強化
-------------	--------------------	---------------	--------------------	--------------------	--------------------

長崎IR基本構想についての有識者会議取りまとめ概要



- 長崎県が目指すのは九州の『ユニーク・マリナーIR』。「ユニーク」には、九州が連携・連帯したIRとの想いを込め、英語で「団結」を意味する「United」の「Uni」に九州の「9」を組みあわせました。これに、交流の歴史や開放的で進取の気性に富む人柄を育ててきた九州の海＝「マリナー」をつなげて、UNI-9・Marine IR。
- さらに、「IR」について、「Integrated Resort」の意味に加えて、「アイランド・リゾート」の意味を含ませ、ユニークの「9」と続けることで九州アイランド・リゾート、すなわち、「島」である九州を意識しています。
- 長崎県は、「Only 1/No.1」のユニークなIRでイノベーションを起こし持続可能な社会の実現を図ります。

【コンセプト】

交流とともに発展してきた「歴史」を背景に、「海や島」など、美しい自然を活用した「独創性と先駆性」に満ちたIRを実現し、未来に向かって、「持続可能性」に満ちた美しく、楽しい、活力ある地域社会、日本の実現を目指す。

Only 1/No.1

独創性 × 先駆性

独自の文化を育み、日本に新しい風を吹かせてきた地域性を背景に新たな発展の機会を創出

- 日本のゲートウェイとしての特有な歴史と独自の文化
- 人や文化を受け入れ、発展させる、DNA・おもてなし・進取の気性に満ちた地域性
- オンリー1、ナンバー1にこだわった観光拠点

Sustainability

持続可能性

IR導入のインパクトでイノベーションを起こし持続可能な地域社会を実現

Marine & Island

海 × 島

豊かな海洋資源、個性豊かな離島、変化に富んだ大自然が与える「癒し」と「豊かさ」の保全と発展

- 四方を海に囲まれ、地理的・社会経済的にまとまりを持つ九州
- 豊かな海洋資源、離島や火山などの美しい自然環境
- 国境離島の経済活動は、「現代の防人」として重要な役割

Crossover & Crossroad

歴史 × 国際交流

歴史的に国際観光交流拠点であった九州・長崎を再開発することで日本のハブとして新たな人流を創出

- 古代からアジアと、近世以降は欧米を含む海外との交流拠点
- 海外との交流等から創造された歴史的な観光素材
- 国際平和のメッセージを発信

IR施設機能 整備の方向性

観光魅力増進施設(ショーケース機能)

- 海外との交流の歴史から「日本の入口」として発展してきた九州・長崎の魅力を発信
- 「体験できるエンターテインメントの提供」
- 最先端技術を活用した「消費促進」、「送客のきっかけづくり」

観光旅行促進施設(ゲートウェイ機能)

- 最先端技術を活用した「コンシェルジュ機能」
- ラグジュアリーな周遊体験を提供
- 九州各地の観光振興主体との連携

MICE施設

- 国際競争力を有する施設機能
 - ✓ ラグジュアリー感・隔離性などで特徴を出したユニークベニュー
 - ✓ 我が国を代表する規模のコンベンションホール(ボールルーム)
 - ✓ スポーツ・コンサートなど開催可能な一定規模以上の展示場(イベントホール)
- クルーズ観光と連携したMICEの可能性
- 国際MICE需要の九州全体での受け止め

宿泊施設

- 増加する宿泊需要に対応できる施設規模
- IR区域内だけでなく、九州全域を含む周辺地域で需要を吸収
- 幅広い客層、多様なニーズに対応できる宿泊機能
- 九州のアイコンとなる宿泊施設

その他施設

- 体験型観光の促進に資する九州・長崎の魅力を活かしたアメニティ等を提供(海を活かしたマリナーウォータースポーツ、アイランド・ツーリズム、リラクゼーション施設など)

実現に向けて取り組むべき方向性

周辺地域の開発促進

- 大村湾を中心としたエリアの開発(宿泊施設・観光素材、海上交通整備)
- 従業員生活環境の整備

弊害防止

- 依存対策
 - ✓ 依存症の予防・相談・医療等の連携体制の強化、充実
 - ✓ 重層的・多段階的取組：依存レベルに応じたきめ細かな対応

交通アクセスの強化

国際観光人材の育成

地域理解の促進